



防災教室「避難所運営ゲーム HUG」を体験しました！



先日、福山平成大学の先生や学生の皆さんを講師にお招きし、中学2年生を対象に防災教室「避難所運営ゲーム（HUG）」を開催しました。HUGとは、地震などの災害発生後に避難所をどのように運営していくかを、カードや地図を用いて疑似体験する防災学習プログラムです。限られたスペースや物資の中で、次々と起こる出来事や避難者への対応を話し合いながら判断していくことで、実際の避難所運営の難しさや大切さを学ぶことを目的としています。

生徒たちは、班で活発に意見を出し合い、真剣な表情で活動に取り組んでいました。体験後の感想では、「災害の怖さを改めて感じた」「いざという時には、中学生としてできることを考えたい」「これから大人になるにつれて、守られる立場から守る立場へ変わっていくことを意識したい」等の声が聞かれました。

また、実際の社会には、体の不自由な方や高齢者、配慮が必要な方、生活に困難を抱える方等、さまざまな立場や状況の人がいることを知り、「一人一人の状況を考え、思いやりをもって行動することの大切さを学んだ」という感想もありました。今回の学びを、今後の生活や防災意識の向上につなげてほしいと思います。

「ここタン」の実施について

本校では、生徒一人一人の心の状態に寄り添い、安心して学校生活を送ることができるよう、ぶんけい社の心のチェックツール「ここタン」を導入しています。福山市では、次年度より市内全校で「ここタン」を実施し、児童生徒の心のケアの一環として取り組むこととなっています。本校では、その先行的な取組として、各自のクロームブックを使用し、2学期から毎週木曜日に試験的に実施しています。3学期からは、毎日実施できるよう準備を進めています。

「ここタン」は、短い質問に答えることで、その日の気持ちや心の状態を無理なく表現することができます。言葉で気持ちを伝えることが難しい子どもでも、簡単な操作で「少ししんどい」「聞いてほしいことがある」といったサインを出すことができます。

入力された内容は、担任や関係する教職員が確認し、必要に応じて声をかけたり、個別に話を聞いたりするために活用します。子どもたちの評価等、別の目的では使用しません。

近年、子どもたちは、さまざまな不安や悩みを抱えながら学校生活を送っています。しかし、「こんなことで相談していいのかな」「うまく言えない」と感じ、大人に気持ちを伝えられないことも少なくありません。「ここタン」を利用することが、悩みや聞いてほしいことを大人に少しでも言いやすくする“きっかけ”になればと考えています。

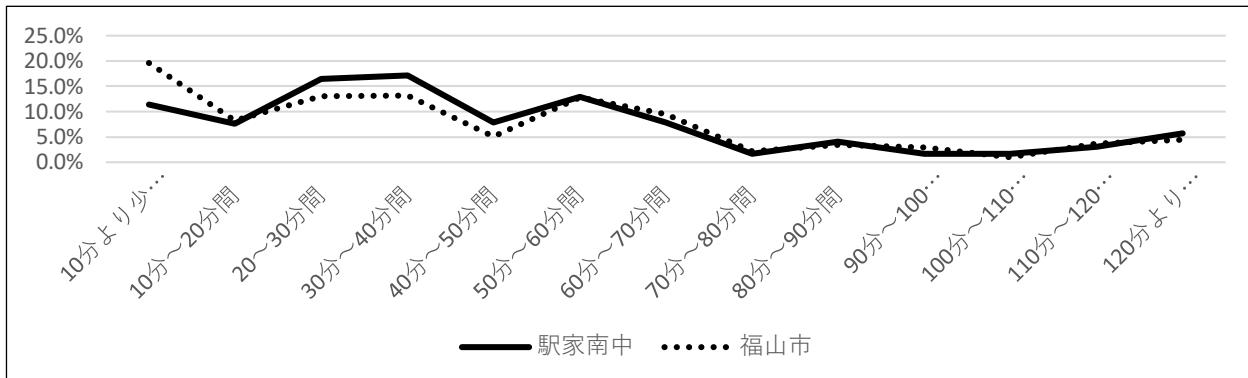
学校では、「ここタン」を通して得られた気づきを大切にし、早めの声かけや丁寧な関わりにつなげていきます。今後も、生徒の心の健康を守り、安心して学べる学校づくりに努めてまいります。本取組へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願ひいたします。

「やればできる」から「やったから、できた」へ！

4月と比べて家で学習をする時間はどう変化しましたか。

	増えた	減った	変わらない
駅家南中	52.6%	3.3%	43.6%
福山市	40.2%	7.1%	52.2%

平日、実際に家で学習を何分やっていますか。



上の表・グラフは、2学期に行った生活習慣に関するアンケートの結果です。この結果をもとに、本校生徒の家庭学習の状況について、福山市全体の結果と比較しながら分析を行いました。

「4月と比べて家庭での学習時間はどう変化しましたか」という問い合わせに対する結果ですが、本校では、「増えた」と答えた生徒が52.6%と半数を超えるました。これは、福山市全体の40.2%を上回る数値です。「減った」と答えた生徒も3.3%と少なく、本校の多くの生徒が、学習時間を維持、または増やしています。これらのことから、本校の生徒は、「学習に向かおうとする意識」や「自分を変えようとする姿勢」をしっかりと持っていると考えられます。

また、平日の家庭学習の「時間の長さ」に注目すると、本校では、20～40分程度の学習時間に最も多くの生徒が集中しており、福山市全体と比べて「極端に短い時間」の生徒が少なくなっています。このことから、本校では、家庭学習がある程度習慣化されていることが考えられます。

しかし、ここで考えたいことがあります。本校の結果は、福山市全体と比べると良好ですが、多くの生徒が1時間以内の学習にとどまっているのも事実です。テスト期間中、3時間以上学習する本校生徒のみなさんとしては、いささか物足りない結果です。別の質問項目では、家庭でのスマートフォン使用時間が、福山市全体より多いという結果も出ています。

これらのことを通して、みなさんに伝えたいことは、「時間がない」のではなく、「時間の使い方」に、まだ伸びしろがあるということです。

実は、ここに気付き、大きく成長したのが、今の3年生です。3年生は、2年生の2学期ごろ、授業の大切さに気付き、授業や家庭学習に向かう姿勢を少しずつ改善してきました。その結果、1学期に行われた全国学力・学習状況調査で全国平均を上回る等、飛躍することができました。また、学習に主体的に取り組む生徒が増えたことで、例年と比べても高校の志望校に「挑戦する」「チャレンジする」姿勢が多く見られるようになっています。中学校卒業後の進路に対する視野や考え方、学習の積み重ねと意欲によって広がっていると感じています。

1・2年生には、ぜひ3年生の姿勢を受け継ぎ、さらに発展させてほしいと思います。「やればできる」を、「やったから、できた」という実感に変えていきましょう。

今年ありがとうございました！

生徒のみなさんの努力と保護者の皆様のご支援のおかげで、今年も駅家南中学校にとって実りある1年となりました。ありがとうございました。

来年も、よろしくお願ひいたします。

